

尊敬語が正しく使える

月 日
名 前

1 次の文の——線の言葉を尊敬語に直します。あてはまる言葉から選んで書きましよう。

(1) 校長先生が教室に来るそうだ。

(2) 先生が花の手入れをするのを手伝った。

(3) お客様が飲むお茶を用意した。

なせる いらっしゃる めしあがる

2 次の文の——線の言葉を、「お(ご)——になる」という言い方に書き直しましよう。

例 校長先生が本を読む。

お読みになる

(1) 先生が母と話す。

(2) お客様が部屋に入る。

(3) 大臣は会議に出席する予定だ。

(4) 市長が、明日学校を訪問する。

